



<p>【キャッチフレーズ】</p> <p>笑顔・花・命</p> 	<p>奄美市立大川小・中学校</p> <p>学校だより大川</p>	<p>【校訓】</p> <p>勉学・協力・根性</p>  <p>平成 31 年 2 月 21 日発行</p>
---	-----------------------------------	---



旧正月 三献 桜とハゼノキ 日本人

校長 前田浩之

2月3日の日曜日、「崎原歩こう会」に参加してきました。1,000本余りあるという満開の桜並木が目的でしたが、ヒカンザクラのショッキングピンクの他にも、緑のグラデーションの中に光るハゼノキの紅色が鮮やかで、奄美の山々の冬の美しさを再認識するところでした。

ちなみに旧正月にあわせ、奄美の正月料理の話を全校朝会でしましたが、体育館から見える山の中にポツンポツンと目立っているハゼノキから、吸い物用のお椀の漆（ウルシ）がとれることを教えると、ハゼノキ=かぶれるイメージを持っていただろう子どもたちは意外な顔をしていました。赤椀、刺身、黒椀と続く三献（サンゴン）の順番と豚骨（ワンホネ）料理。奄美の正月の伝統料理と、真っ赤なハゼノキとピンクのヒカンザクラのイメージがリンクすると、奄美の子としてのアイデンティティが育つのではないかと期待するところです。奄美人（アマミンチュ）にとって桜は春ではなく、真冬の花です。

さて、学校にもヒカンザクラがあります。校庭の農道側に多く、寒さの中に凜とした光を放っています。昭和62年に卒業記念として33本のヒカンザクラを植えたことが卒業記念碑から読み取れましたが、確認できたのは31本でした。それでも30年あまりの月日の中で31本も生き残っているのですから、生命力は相当なものです。幾多の台風も乗り越え、今もきれいな花を咲かせています。



日本人は桜が大好きです。多くの歌人たちがその魅力を歌に詠んでいます。

散る桜 残る桜も 散る桜

：江戸時代の僧侶、良寛和尚は「命は無限ではない、今を美しく生きなさい。」と説きました。

しき嶋の やまところを ひととはげ 朝日にはほふ 山ざくら花

：本居宣長のこの句を引用し、日本人（武士）の心は桜の花のように控えめで潔いものだと世界中で紹介したのは、「武士道」を日本人の道德の根本だとした新渡戸稲造でした。

これらの歌からわかるように、桜は永遠ではないから日本人に好まれるのです。1年中桜が咲いていたなら、誰も花見はしません。満開の桜や強風に散っていく桜吹雪の美しさ、その時々瞬間の美を楽しむ、旬を味わう日本人の好きな花が、期間限定の桜なのです。子どもたちにも、季節の移り変わりを、自然の変化を楽しむ感性と観察力を育てたいものです。

さあ、来月は公立の高校入試本番。すぐに卒業式と続きます。すでにヒカンザクラは葉桜となっているのですが、入試の結果だけは「サクラサク」といきたいものです。

奄美市美展 入賞多数



奨励賞

奨励賞 小4：福山 龍之介 「魔女のレストラン」



特選

特選 小1：久保 優彩 「みんなでやさいも」

奄美市美術展覧会で多くの入賞作品が出ました。子どもたちの感性が育っています。

2019 奄美市美展入賞者名

美術		
奨励賞	小4	福山 龍之介
特選	小1	久保 優彩
入選	小1	杜 勇惺
	小3	宝来 さくら
	小5	前濱 里志
書道		
 入選	中1	秋 里歩菜
	中1	安田 玲愛
	中2	泉 沙葉羅
	中3	迫地 きよら
	中3	満田 陽
	小1	坂上 瑞季
	小2	久原 慈
	小3	久原 慧仁
	小4	有吉 未来
	小5	前濱 太志

お別れソフトボール大会 大健闘



4年生も大活躍！ 2回戦まで進出しました。



練習の成果 コントロール良くナイスピッチング！

図書寄贈のお知らせ

創価学会より 300 冊の図書を寄贈していただきました。4月に貸し出しができるよう準備中です。また、今後5年間 20 冊ずつ寄贈されます。感謝！

2月後半～3月 主な行事予定	
2/22(金)	中1・2年授業参観・PTA 学校保健委員会(中)
2/24(日)	市まなびフェスタ
3/1(金)	なわとび大会(小) 学校保健委員会(小) 全体PTA(小) 学級PTA(小)
3/3(日)	名瀬・住用地区生涯学習講座閉講式 発表会
3/6(水)	公立高校入試～7日
3/11(月)	お別れ遠足
3/13(水)	卒業式
3/14(木)	公立高校入試合格発表
3/18(月)	劇団四季「こころの劇場」 第3回学校評議員会・信頼される学校づくりのための委員会
3/24(日)	PTA 送別会 18:30～ 於：小湊福祉館
3/25(月)	修了式
3/28(木)	辞任式